

TOYOTA

FUDOSAN

CORPORATE PROFILE

「行ってみたい」を、つくる。

長年の信頼を大切に、事業の「幅」と「エリア」を拡げ、
こころ動くまちをつくる。

私たちは、トヨタグループの総合デベロッパーです。

Index

- 03 トップメッセージ
- 04 トヨタ不動産のまちづくり
- 事業紹介 -
- 06 オフィス
- 08 商業
- 09 イベントスペース・会議室
- 10 アリーナ
- 11 ホテル&リゾート
- 12 インキュベーション
- 13 サステナビリティ・社会貢献
- 歴史・沿革
- 14 会社概要
- 15 拠点

Top Message



信頼を第一に 様々なまちづくりに挑む

当社はトヨタグループの一員として1953年に設立されました。
以来、名古屋・東京・大阪の3つのエリアで、主にオフィスビルの開発・運営を中心とした事業を展開してまいりました。
近年では、東京お台場・青海エリアにおけるアリーナ開発プロジェクトや、富士スピードウェイ周辺一帯の再開発プロジェクトに取り組むなど、事業の「幅」と「エリア」を積極的に拡げており、東京エリアにおける事業の強化・拡大にも、今まさに注力しております。
また、未来に向け、トヨタグループの総合デベロッパーとしてさらなるチャレンジをしていくにあたり、
2022年4月、社名を「東和不動産」から「トヨタ不動産」へと変更し、
2024年1月には東京本社を新たに設置して名古屋本社との二本社制を開始いたしました。
70年を超える歴史の中で積み重ねてきた信頼をこれからも大切にしながら、常に新たな挑戦を続け、より多くの人々や社会の役に立つまちづくりに貢献してまいります。
皆様方には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長
山村 知秀

トヨタグループの総合デベロッパーとして

私たちの存在意義。それは、トヨタグループの総合デベロッパーとしてまちづくりを通じ、人々や社会の役に立つこと。1953年の設立以来、主に名古屋駅前において、エリアの利便性向上を図りながら複数の不動産を開発・取得し、まちの活性化、賑わい創出に貢献しています。中でも、名古屋駅前のランドマークとなっているミッドランドスクエアの開発にあたっては、企画構想段階からプロジェクトを推進し、中部エリアに大きなインパクトを与える都市開発事業となりました。



東京エリアにおける事業の強化・拡大

当社は未来に向けさらなるチャレンジをしていくにあたり、「東和不動産」から「トヨタ不動産」への社名変更および東京本社・名古屋本社の二本社制導入を行い、より多くの人々や社会への貢献に繋がるよう、事業の「幅」と「エリア」を積極的に広げながら様々なまちづくりに挑戦しています。特に、東京エリアにおける事業の強化・拡大は今まさに注力しているところであり、東京都心部における都市開発事業にも参画しています。



トヨタグループならではのまちづくり

私たちは、トヨタグループの総合デベロッパーとして、グループならではのまちづくりに取り組んでいます。

TOYOTA ARENA TOKYO建設プロジェクトでは、東京のお台場・青海エリアに収容人数1万人規模の「次世代多目的アリーナ」を開発しており、富士モータースポーツフォレストプロジェクトでは、日本を代表する国際サーキットである富士スピードウェイの周辺一帯の再開発プロジェクトに携わっています。



エリア価値向上に向けて

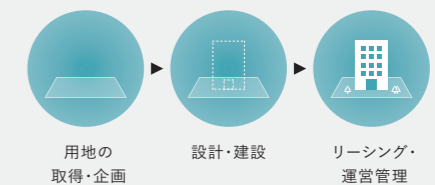
私たちは様々な取り組みを通じて、エリアの付加価値をより一層高められるようなまちづくりを行います。

公開空地を活用した賑わい創出イベントの開催や、まち行く人々の憩いの場となるようなオープンスペースの設置など、近隣の事業者・地域の皆様と共に、まちの活性化を促す多様な取り組みを推進しています。



私たちの事業領域

私たちは、数多くのステークホルダーの皆様の想いと誠実に向き合い、その中核となってまちづくりをリードします。用地の取得・企画・設計・建設・リーシング・運営管理、これらすべてのフェーズが私たちの事業領域です。



好立地で高品質なオフィス空間を提供

東京・名古屋・大阪の3つのエリアで、好立地・高品質なオフィスビルの開発・賃貸事業を展開しています。安全・安心を第一に、環境に配慮した先進技術も採り入れながら、お客様の多様なニーズにお応えする快適なオフィス空間を提供しています。

東京エリアでは、トヨタ東京ビルをはじめとして、都内各地の優良物件の取得を積極的に行い、ビル事業の戦略的な成長・拡大を推進しています。

また、名古屋エリアでは、ミッドランドスクエアやシンフォニー豊田ビルなど、名古屋駅から徒歩5分圏内の一等地で複数のオフィスビルを開発・運営しています。

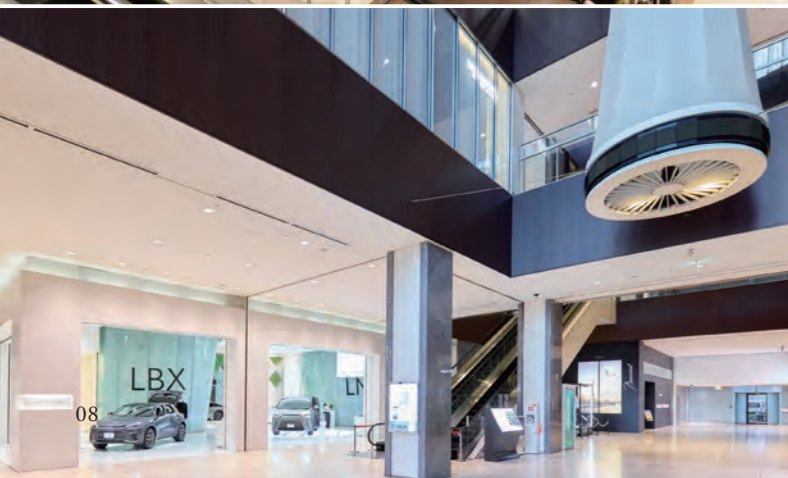


まちのさらなる発展に貢献する商業施設を開発・運営

お客様の多様なニーズを捉えながら、まちのさらなる発展に貢献する商業施設の開発・運営事業を展開しています。施設の企画から運営に至るすべてのフェーズに携わり、常に新鮮でワクワクするような体験を提供する商業施設づくりを目指します。

ミッドランドスクエア商業棟

ミッドランドスクエア商業棟は、名古屋エリアの「ラグジュアリーモール」の先駆けとして2007年に開業しました。開放的な空間・質の高い接客・格調高い雰囲気具备了たショップ&レストランと、最新鋭の設備を誇る国内屈指のシネマコンプレックスは、訪れるすべての方に満足度の高い体験価値を提供します。



スカイプロムナード

スカイプロムナードは、ミッドランドスクエアの最上階、中部地方で最も高い位置にあるオープンエアの展望施設です。バーベキューやプロジェクションマッピングなど、年間を通じて様々なイベントを開催し、名古屋駅前の賑わい創出に貢献しています。



イベントスペース・会議室

東京・名古屋・大阪の3つのエリアで、ミーティング・イベント・シンポジウム・展示会など、様々な目的や用途でご利用いただける、バラエティに富んだイベントスペース・会議室を提供しています。



多目的・複合型アリーナで地域に365日の賑わいを創出

経済産業省及びスポーツ庁が選定する「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」として認定されている TOYOTA ARENA TOKYO。当社は、本アリーナの建設事業主・建物所有者として、地域の賑わい創出やスポーツ産業の成長促進に貢献します。

TOYOTA ARENA TOKYO

TOYOTA ARENA TOKYOは、お台場・青海エリアに位置する収容人数1万人規模の「次世代多目的アリーナ」です。メインアリーナ内には、国内最大級のセンタービジョンや、バラエティに富んだ観戦シートを用意。アリーナの外にも、青海エリアに365日の賑わいを創出するための様々な施設を備えます。(2025年秋開業予定)



あらゆる可能性の集積地に

スポーツ・モビリティ・サステナビリティといった領域を中心に、様々な可能性が集積し、さらには、その可能性が解き放たれる場所となることを目指しています。

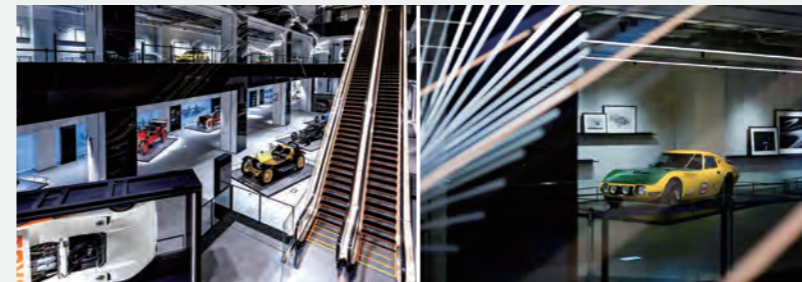
※画像はイメージベースで、実際と異なる場合があります。

特別なひと時を提供する宿泊施設を開発・運営

コンセプトや空間デザインにこだわりを持った、その場所ならではの魅力があふれる特別なひと時を体験できる宿泊施設の開発・運営事業を展開しています。

富士スピードウェイホテル

富士スピードウェイホテルは、「アンバウンド コレクション by Hyatt」の日本初上陸ホテルとして2022年にオープン。ガレージ付きヴィラを含む全120室のゲストルームのほか、温泉・室内プール・スパ・レストラン&バーなど、唯一無二のラグジュアリー体験を提供する様々な施設を備えています。



ホテルと一体化したミュージアム

ホテル棟の1階、2階部分に位置し存在感を放つのは、時代を象徴するレーシングカー約40台を展示する「富士モータースポーツミュージアム」です。

三井ガーデンホテル名古屋プレミア(リース)

名古屋駅徒歩5分の場所に位置する当社開発の高層ビル、シンフォニー豊田ビルに、東海地方初となる三井ガーデンホテルを誘致し、旅行やビジネスなど様々な目的で名古屋を訪れる多くのお客様にご愛顧いただいています。



新たな産業の育成・イノベーション創出に向けて

多種多様なスタートアップ企業と、新たな技術や発想を求めている大企業が、出会い・交流できる「場」を提供し、新たな産業の育成・イノベーション創出を目的としたインキュベーション施設の開発・運営事業を、東京と名古屋の2か所で展開しています。

axle御茶ノ水

築50年以上の物件をフルリノベーションし、シェアオフィス・プロジェクトルーム・イベントスペース・ラウンジなどを備えるインキュベーション施設として2020年に誕生したaxle(アクスル)御茶ノ水。入居者同士の交流とイノベーション創出を目的とした、多様なサービス・イベントを提供しています。



なごのキャンパス

なごのキャンパスは、閉校となった旧那古野小学校をリノベーションして、2019年に誕生したインキュベーション施設です。様々な形態のワークスペース・レンタルスペースを提供するだけでなく、名古屋商工会議所と連携したサポートサービスの提供や、入居者同士はもちろん、地域の皆様に開かれた交流イベントの開催なども行っています。



トヨタ不動産の5つのマテリアリティ(重要課題)



車いすバスケットボール支援

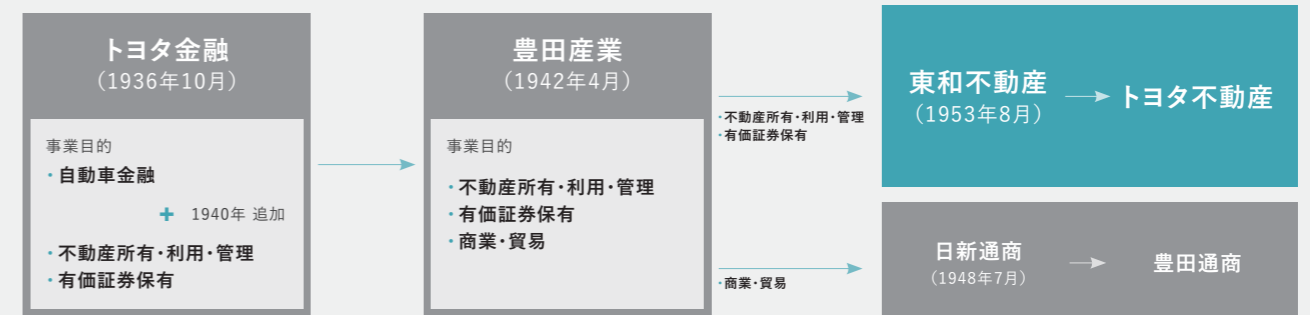


歴史・沿革

創業期

1936年、豊田喜一郎がトヨタ金融株式会社を設立し、1940年の株主総会にて「不動産の所有、利用又は管理」と「有価証券の保有、並びに他の事業への投資」という文言を事業目的に追加しました。その後、トヨタ金融は持株会社としての役割を担いながら、1942年には豊田産業株式会社に改称します。

そして戦後まもなく、豊田産業は財閥解体の対象となり、1948年7月、その後継会社として日新通商株式会社(現:豊田通商)が設立され、商業・貿易事業を継承しました。その後の1953年8月、トヨタ自動車工業(現:トヨタ自動車)、豊田自動織機製作所(現:豊田自動織機)、日新通商(現:豊田通商)が出資し、資本金1億5000万円をもって「東和不動産株式会社」(当社の前身会社)が設立され、不動産所有・利用・管理、及び有価証券の保有事業を継承しました。



発展期～新たなステージへ

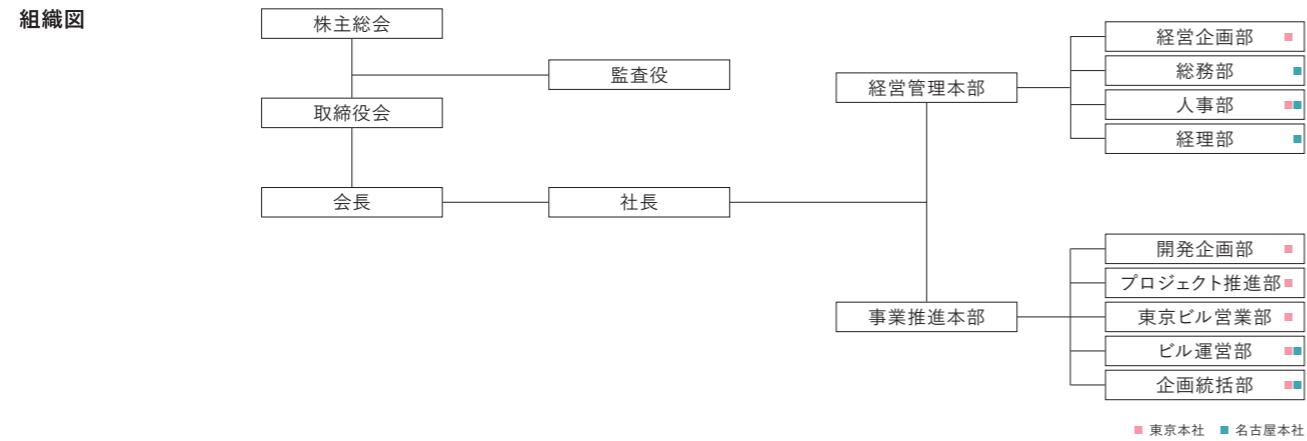
1955年の豊田ビル(名古屋駅前)、1962年の大阪豊田ビル(大阪・心斎橋)、1973年の第二豊田ビル(名古屋駅前)、1989年のセンチュリー三田ビル(東京・港区)、2002年のセンチュリー豊田ビル(名古屋駅前)など、トヨタグループの不動産会社として、名古屋・大阪・東京と、エリアの幅を広げながらビル賃貸事業を拡大し、2006年には中部地方最大の地上高(247m)を誇る超高層複合ビルミッドランド スクエアが竣工しました。

2019年以降はインキュベーション施設の開発や、ホテル、アリーナの開発など、事業の幅も大きく広がり、2022年に「東和不動産」から「トヨタ不動産」へ社名を変更、2024年には東京本社を新たに設置し、名古屋本社との二本社制を開始しました。

会社概要

商号	トヨタ不動産株式会社
設立	1953年(昭和28年)8月17日
資本金	594.5億円
売上高	202.4億円(2024年3月期)
事業内容	不動産の開発・賃貸・運営管理ならびに有価証券等への投資

役員	取締役会長 豊田 章男
	取締役社長 山村 知秀
	取締役 加留部 淳
	取締役 有馬 浩二
	取締役 近 健太
	監査役 奥田 慶一



従業員数 118名(2024年4月時点)

関係会社
 柳橋食品ビル株式会社
 株式会社TOWAホスピタリティ
 株式会社アイ・エム・エー

拠点

東京本社

〒100-0006
 東京都千代田区有楽町1-1-2
 東京ミッドタウン日比谷 日比谷三井タワー 11階
 電話(03)4511-3353(代表) FAX(03)6743-9664



名古屋本社

〒450-6216
 名古屋市中村区名駅4-7-1
 ミッドランド スクエア 16階
 電話(052)584-7111(代表) FAX(052)584-7117



大阪支店

〒542-0081
 大阪市中央区南船場4-3-11 大阪豊田ビル
 電話(06)6261-7331(代表) FAX(06)6261-7334



トヨタ不動産はトヨタグループ18社※の一社です。

※ (株)豊田自動織機、トヨタ自動車(株)、愛知製鋼(株)、(株)ジェイテクト、トヨタ車体(株)、豊田通商(株)、(株)アイシン、(株)デンソー、トヨタ紡織(株)、トヨタ不動産(株)、(株)豊田中央研究所、トヨタ自動車東日本(株)、豊田合成(株)、日野自動車(株)、ダイハツ工業(株)、トヨタホーム(株)、トヨタ自動車九州(株)、ウーブン・バイ・トヨタ(株)



<https://www.toyotafudosan.com>

TOYOTA
FUDOSAN

2025年3月